

授業科目	*高齢者福祉				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	荒木 剛										
授業概要	<p>実務家教員として、高齢者施設での相談業務の経験をもとに、以下の4点を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の定義と特性について解説する。</li> <li>2. 高齢者とその家族の生活実態、それを取り巻く社会環境について解説する。</li> <li>3. 高齢者観の変遷と高齢者福祉制度の理念および発展過程について解説する。</li> <li>4. 高齢者福祉の法制度の仕組みについて解説する。</li> <li>5. 高齢者に対する適切な支援について解説する。</li> </ol>										
授業形態	講義	授業方		法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>高齢者の身体・精神・社会的特性や高齢者の生活を支援する各種の法制度について理解し、他者に説明できる（具体的には以下の通り）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の定義と特性について理解し、説明できる。（DP1-1、DP1-2、DP3-1、DP3-2）</li> <li>2. 高齢者とその家族の生活実態、それを取り巻く社会環境について理解し、説明できる。（DP1-1、DP1-2、DP3-1、DP3-2）</li> <li>3. 高齢者観の変遷と高齢者福祉制度の理念および発展過程について理解し、説明できる。（DP1-1、DP1-2、DP3-1、DP3-2）</li> <li>4. 高齢者福祉の法制度の仕組みについて理解し、説明できる。（DP1-1、DP1-2、DP3-1、DP3-2）</li> <li>5. 高齢者に対する適切な支援について理解し、説明できる。（DP2-1、DP2-2）</li> </ol>										
理想的 レベル	日本における高齢社会の現状や課題を十分に理解し、高齢者支援に関わる社会福祉士のあり方について考察できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	80%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	20%										
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	WE21216J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
各回の授業内容に関する事前の調べ学習、事後の整理・まとめ等を行う。										4	
授業計画											
第1回	【テーマ】 高齢者福祉とは 科目の概要と位置づけ、受講のルール等について説明する。										

第2回	【テーマ】 高齢者と少子高齢社会 高齢者の定義と特性について解説する。
第3回	【テーマ】 高齢者を取り巻く社会環境 少子高齢社会の現状および高齢者の生活実態について解説する。
第4回	【テーマ】 高齢者福祉制度の理念と発展過程 高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の理念と発展過程について解説する。
第5回	【テーマ】 介護保険法 制度創設の背景と目的・理念および基本的枠組みについて解説する。
第6回	【テーマ】 介護保険法 要介護認定のプロセス、保険給付サービス、介護報酬、介護保険事業計画について解説する。
第7回	【テーマ】 介護保険法 地域支援事業、地域包括支援センターについて解説する。
第8回	【テーマ】 介護保険法 介護サービスの体系について解説する。
第9回	【テーマ】 介護保険法 介護サービスの体系について解説する。
第10回	【テーマ】 高齢者支援の関連諸制度 老人福祉法の内容について解説する。
第11回	【テーマ】 高齢者支援の関連諸制度 老人福祉法の内容について解説する。
第12回	【テーマ】 高齢者支援の関連諸制度 高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー新法の内容について解説する。
第13回	【テーマ】 高齢者支援の関連諸制度 高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、介護・育児休業法の内容について解説する。
第14回	【テーマ】 高齢者と家族に対する支援の実際 高齢者とその家族に対するソーシャルワークの実際について解説する。
第15回	【テーマ】 前期のまとめ 重点項目のまとめを行う。
テキスト	「最新 社会福祉士養成講座 高齢者福祉」中央法規出版
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	参考図書：適宜、講義の中で紹介する。 教材等：必要に応じて新聞等のコピー、DVD等を用いる。

課題に対するフィードバックの方法	コメントカード等で出された質問・疑問については、再度、授業内で解説し、フィードバックを行います。
学生へのメッセージ・コメント	高齢社会を巡るさまざまな課題・問題への関心を高めておいて下さい。

